



《キャンプファイヤ》2024年 油彩／カンヴァス

FACE2025 グランプリ

齋藤大 Saito Dai 《キャンプファイヤ》



2001年生まれ 山形県在住
2022年 個展「The fall out」TURN ANOTHER ROUND・宮城
2023年 個展「Fuliten」TURN ANOTHER ROUND・宮城
2024年 「perché」銀座スルガ台画廊
「一途なモグラは空を飛ぶ」最上川美術館・山形
Idemitsu Art Award 2024 入選
2026年 東北芸術工科大学大学院 修了予定

しました。入選者は応募時
年齢20歳から73歳、平均年
齢36.3歳。審査では、投
票および審議により入選作
品から9作品の受賞作品を

決定しました。

齋藤大さんの《キャンプファイヤ》は、色
彩の対比が面白く、ファンタジー的な要素

や内的な不安感を示す一方で全体的に
勢いがあり、満場一致でグランプリに選出
されました。

【展覧会データ】
展覧会名 | FACE展2025
会 期 | 2025年3月1日(土)―3月23日(日)
主 催 | SOMPO美術館、読売新聞社
特別協賛 | SOMPOホールディングス
特別協力 | 損保ジャパン
後 援 | 文化庁、東京都、新宿区

絵画のゆくえ2025 ―FACE受賞作家展

平面作品のコンテストFACEは
「グランプリ」「優秀賞」の
受賞作家が翌年以降に新
作・近作を発表するグループ展「絵画のゆく
え2025」ではFACE2022から2024まで3年
間の受賞者12名の78作品を展示、3～10

点ほどの作品構成によりおのおの表現
する世界と受賞後の展開を紹介しました。
なお、2024年度のFACE2025以降「絵画
のゆくえ」は翌年のFACE展と同時に開催
することとしました。

【展覧会データ】
展覧会名 | 絵画のゆくえ2025―FACE受賞作家展
会 期 | 2025年1月18日(土)―2月11日(火)
主 催 | SOMPO美術館、読売新聞社
特別協賛 | SOMPOホールディングス
特別協力 | 損保ジャパン
後 援 | 新宿区

主な作品貸出協力

2024年度は海外展への出品、
そして東郷青児展の開催
協力を行いました。

◆ポール・ゴーギャン
《アリスカンの並木路、アルル》

「ゴーギャンの世界 Gauguin's World:
Tōna Iho, Tōna Ao」(オーストラリア国立
美術館 National Gallery of Australia
6月28日―10月7日)

◆東郷青児作品 78点
「特別展 東郷青児 美の変奏曲」(神戸市
立小磯記念美術館 10月5日―12月15日)

作品寄贈

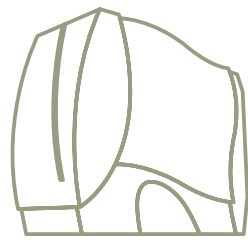
7月に坂野伯夫氏より、東郷青児
が1932年頃に氏のご母堂・文子
さんを描いた油彩3点のご寄贈を
受けました。うち2点は《B夫人》として1981
年講談社刊の画集に掲載されています。

SOMPO美術館レポート No. 52
発 行 日 | 2025年3月(年1回発行)
編集・発行 | 公益財団法人 SOMPO美術財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
デ ザ イン | 若林純子
印 刷 | 大城印刷株式会社

美術館レポート No.52

REPORT

S o m p o M u s e u m o f A r t



SOMPO美術館

2024

2024年度は、西新宿のアートランドマークとして、5つの展覧会を開催しました。
春は「北欧の神秘―ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画」、
夏は「ロートレック展 時をつかむ線」、秋は「カナレットとヴェネツィアの輝き」、
冬は公募展「FACE展2025」と、過去3回のFACE展(2022から2024まで)受賞作家の
その後の活躍を紹介する「絵画のゆくえ2025」を開催し、多くの皆さまにご鑑賞いただきました。

北欧の神秘 ―ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画



テオドール・キッテルセン《トロルのシラミ取りをする姫》
1900年 油彩／カンヴァス ノルウェー国立美術館
Photo: Nasjonalmuseet/Borre Hostland

北 欧3か国、ノルウェー、スウェー
デン、フィンランドの国立美術
館のコレクションから選び出さ
れた約70点の作品を通して、黄金期とされ
る19-20世紀初頭の北欧絵画を本格的に
紹介する国内初の展覧会です。

本展は4章構成で、序章では、北欧独
自の絵画が育っていく背景をご紹介しまし
た。19世紀、ナショナリズムの興隆を背景

に、北欧の画家たちは母国の自然や歴史、文化に高い関心を
寄せるようになりました。そして、ロ
マン主義の影響も相まって、鑑
賞者個人の記憶を呼び起こし、
想像力を喚起するような一連の
風景画が生まれたのです。続く
1章では、雄大な山や湖、白夜と
いった北欧らしい気候や自然を
主題に、独自の絵画表現を探
求した画家たちの作品をご紹介
しました。2章では、北欧神話や

民間伝承に取材して神秘的な世界観を
表した作品が一堂に会し、3章では、急速
な近代化に伴って開発の進む都市と、そ
こに暮らす人びとを主題とする作品が並び
ました。この中には、ノルウェー人画家エド
ヴァルド・ムンクや、フィンランドの国民的画
家アクセリ・ガッレン＝カッレラも含まれていま
す。また、新たな試みとしてサウンドを取り入
れ、森を題材とする作品の近くに鳥のさえず

りや馬のいななき、風の音をかすかに流し、
通路に神秘的な音楽をかけるなど、展覧会
の世界感を際立たせる工夫をしました。

【展覧会データ】
展覧会名 | 北欧の神秘
―ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画
会 期 | 2024年3月23日(土)― 6月9日(日)
主 催 | SOMPO美術館、NHK、NHKプロモーション、
朝日新聞社
特別協賛 | SOMPOホールディングス
協 賛 | DNP日本印刷
特別協力 | スウェーデン国立美術館、フィンランド国立
アテネウム美術館、ノルウェー国立美術館、
損保ジャパン
協 力 | フィンエア、フィンエアカーゴ
後 援 | スウェーデン大使館、フィンランド大使館、
ノルウェー大使館、新宿区
企画協力 | S2



本 展の開催を記念し、3月26日
にシンポジウムを開催しまし
た。フィンランド、スウェーデン、
ノルウェーの国立美術館からゲストをお迎え
し、厳しい自然環境や独特の風土によって
育まれた北欧美術の独自性と魅力につい
ての活発な議論の場となりました。
また、本展をさらに楽しんでいただくための

鑑賞ガイドを独自に制作しました。3か国を
代表する作家と、トロルの物語についての解
説。さらに担当者おすすめの本の紹介も
盛り込んだ、こだわりの
内容です。

鑑賞ガイド
「語り継がれた物語」

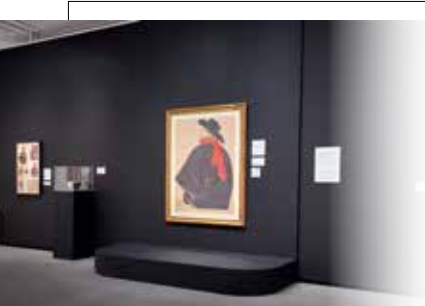


SOMPO美術館
Sompomuseum of Art

この街には、《ひまわり》がある。

X 公式アカウント
Instagram 公式アカウント
Facebook 公式アカウント
ホームページ

@sompomuseum
@sompomuseum
sompomuseum
https://www.sompomuseum.org/



フィロス・コレクション ロートレック展 時をつかむ線

フィロス・コレクションは、アメリカ在住のベリンダとポール夫妻が、フランス世紀末の画家アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック(1864-1901)の作品を集めたものです。このコレクションはロートレックの素描や版画など紙媒体の作品を収集したもので、個人のものとしては、世界最大級の質と量を誇るといえます。本展はこのフィロス・コレクションから素描や水彩画約70点に加え、画家のアイコン的な作品であるポスター、雑誌や書籍の挿図として制作された版画、ロートレックが家族や知人に宛てた手紙など、作品と資料あわせて約240点を展示しました。

フィロス・コレクションの最大の特徴である素描作品群は、完成作品から版画作品の習作、日々の簡単なスケッチ(あるものは紙の両面に描かれています)とさまざまです。「1点もの」の素描を通じて、画家が実際に

目にした「時」を、そして芸人やダンサーの一瞬の動きをとどめた画家の技量を感じることができたのではないのでしょうか。

本展ではまた、5階から4階へ移動する階



トゥールーズ＝ロートレック《騎手》
1879-81年 ペン、インク／紙 フィロス・コレクション
courtesy of "The Firos Collection"



トゥールーズ＝ロートレック《ディヴァン・ジャポネ》
1893年 リトグラフ フィロス・コレクション
courtesy of "The Firos Collection"

段に、19世紀のキャバレーやダンスホールをイメージする音楽を流し、ロートレックが活躍した19世紀末パリの雰囲気を演出しました。

【展覧会データ】
展覧会名 | フィロス・コレクション ロートレック展
時をつかむ線
会 期 | 2024年6月22日(土)―9月23日(月)
主 催 | SOMPO美術館、日本テレビ放送網
特別協賛 | SOMPOホールディングス
協 賛 | 光村印刷
特別協力 | 損保ジャパン
協 力 | NX日本通運、日本貨物航空
後 援 | 新宿区
企画協力 | 日テレイベント、日本テレビサービス

【関連企画】新宿のムーラン・ルージュ ―大衆演劇と美術

淑徳大学教授・中野正昭先生の監修のもと、『新宿のムーラン・ルージュ 大衆演劇と美術』と題するリーフレットを制作、配布しました。新宿駅前に戦前から戦後にかけて存

在した大衆演劇場「ムーラン・ルージュ新宿座」の歴史をきっかけにして、大衆演劇と美術の関係を振り返る内容としました。また、淑徳大学表現学科の学生

の皆様にご協力をいただき、当時の舞台を再現する映像資料を制作、会場内で上映しました。



撮影の様子

夏休みのワークシートキット

ロートレック展開催にあわせて、展示作品を素材にしたぬり絵と、ムーラン・ルージュ風の風車工作が楽しめる「ロートレック展 ぬり絵工作キット」を作成しました。会期中に来館した小学生に配布するとともに、ご家庭、高齢

者施設など多様な場所でひろく活用いただけるよう、当館のホームページからダウンロード可能にしました。

ワークシートキット完成例



18世紀のヴェネツィアで活躍した「ヴェドゥータ(景観画)」の巨匠カナレット(1697-1768)。これまで日本で本格的に取り上げられることのなかったこの知られざる巨匠に初めて焦点を当てた本展では、スコットランド国立美術館をはじめとする英国のコレクションを核に、油彩・素描・版画など約60点で構成、ヴェドゥータの成立過程を辿るとともに、カナレットの生涯と画業、同時代や後代への影響を検証しました。

1000年以上の長きにわたる共和制の伝統と、特異な都市構造を持つヴェネツィア。共和国としての繁栄が斜陽を迎えた18世紀、この唯一無二の「水の都」は、グランド・ツアーで訪れた数多くの英国の上流階級を迎え入れ、彼らは旅の記念としてカナレットのヴェドゥータを入手、自国へと持ち帰りました。精密な透視図法を用いて緻密に描き出された街並みや、晴朗な空と輝く水面、また共和国時代の栄華をしのばせる祝祭の光景など、カナレットの描いたヴェドゥータは、同地の「絵になる」眺めの典型的イメージを作り出していったのです。来館者は、作品に描かれた名所を示した地図を掲載した当館オリジナルの「鑑賞ガイド」を手に、



2024年度の鑑賞教育活動とその他の教育普及活動

新宿区立小中学校を対象とした「対話による美術鑑賞教育」支援事業は17年目を迎え、2024年度は小学校29校(全29校中)・中学校6校(全10校中)の授業支援をすることができました。昨年度から導入した「多言語鑑賞カード」は、日本語の習得が不十分な子どもたちへ母語のカードを提示したと



カナレット《昇天祭、モロー河岸のブチントーロ》1760年 油彩／カンヴァス ダリッジ美術館、ロンドン
Dulwich Picture Gallery, London

カナレットとヴェネツィアの輝き



鑑賞ガイド

ヴェネツィアの街中を散策する気分で、カナレットの緻密かつ壮麗なヴェドゥータの世界に浸っていただけたことでしょう。また、本展のもう一つの見どころともいえるホイッスラーやモネなど19世紀英仏の作品を通じて、底知れぬ魅力を湛えたヴェネツィアのさまざまなイメージを堪能していただく機会となりました。

【展覧会データ】
展覧会名 | カナレットとヴェネツィアの輝き
会 期 | 2024年10月12日(土)―12月28日(土)
主 催 | SOMPO美術館、毎日新聞社、スコットランド国立美術館
特別協賛 | SOMPOホールディングス
協 賛 | DNP大日本印刷
特別協力 | 損保ジャパン
協 力 | 日本航空、日本貨物航空、箱根ガラスの森美術館、ITAエアウェイズ
後 援 | 駐日イタリア大使館、プリティッシュ・カウンシル、新宿区、TOKYO-MX、J-WAVE



から学ぶ機会をいただきました。

これらに加え、高齢者福祉施設で活用いただける鑑賞動画「SOMPO美術館オンライン アートにふれる10分間」を今年度も作成しました。作品を楽しむこと、そして「考えながら見る」ことを目的とした動画です。

